



箱根写真美術館 箱根

Hakone museum of photography

「PRAHA～音と色彩の旋律～」

YUSUKE MIZUNO Birth 50th Anniversary Photo Exhibition

会期：2011年7月13日(水)～8月22日(月)

会場：箱根写真美術館 2F 展示室



< 展覧会概要 >

音楽とアートをテーマに様々な活動続ける水野雄介氏がプラハを旅して出会った街や人々を捉えた写真展。街を織りなす色彩、路地に響きわたる様々な音、そして人々の呼吸、プラハには他のヨーロッパの都市にはないプラハ固有の時間が流れているように感じるという。都会の喧噪の中で流れるその時間はとてもゆるやかで、幾久しく変わらぬプラハの水脈、ヴルタヴァ川の流れそのものである。

数々の FM 番組の制作を経て、現在、夜景と音楽をテーマにした東京タワーの Club333 プロジェクトをプロデュースする水野氏。街の空気を司る音と色彩をカメラのファインダーを通してスケッチし続けています。今回の写真展は、プラハの時間の流れの大きな要素のひとつとして感じた「色・音」をテーマに、独自の感性で絞り込んだ作品で構成し発表いたします。

展示作品数：カラー20点/モノクロ2点(予定)

PRESS RELEASE

Hakone museum of photography

<作家紹介>

水野雄介 (みずの ゆうすけ)

【作家略歴】

1961年東京・神楽坂生まれ

青山学院大学経済学部卒業

祖父は太宰治の「斜陽」初版本などの装丁を手がけた画家・岡村夫二。母も画家というアートに囲まれた環境の中で幼少期を過ごす。

10代後半から日本と世界各国を旅しながら写真を撮り始める。大学卒業後ラジオ番組制作会社に就職し、数々のラジオ番組の制作に携わる。

39歳で独立。2002年より、夜景と音楽をテーマにした東京タワーClub333プロジェクトをプロデュースし今年で9年目を迎える。

2004年、静岡県伊豆の国市に移り住み、東京・伊豆・箱根をベースに活動を続ける。

2006年、はじめての写真展を三島市で開催。その後もコンスタントに発表を続けている。

2008年、アートと音楽の融合をコンセプトに、株式会社アートオンミュージックを設立。

【展覧会歴等】

2006年「fact1/2」於：三島市・Gallery エクリュの森

2006年「風の記憶・シルクロード写真展」

於：三島市・丸平ギャラリー

2006年 日中映画祭上映関連作品としてシルクロード

の作品を出典 於：横浜赤レンガ倉庫

2008年 YUSUKE PHOTONOVA WORLD 「F△7」

於：箱根彫刻の森美術館 AOM ギャラリー

2008年 東京タワー開業50周年記念カレンダー

2009年 YUSUKE PHOTONOVA WORLD 「音の棲む場所」

於：東京・南青山・ギャラリー2104

2010年「TOKYO TOWER JUNCTION Vol.1」

於：東京・麻布台「ESCRIBA」

2010年「TOKYO TOWER JUNCTION Vol.2」

於：東京タワー3F「タワーギャラリー333」

<関連イベント等>

■8月12日(金)

YUSUKE MIZUNO Birth 50th Anniversary PARTY

■8月16日(火) 18:00-

強羅・大文字焼夕暮れギャラリートーク

■併設カフェでは会期中、チェコビールの代表格

ピルスナーウルケルを販売します。



【会場／問合せ先】

箱根写真美術館 2F 展示室

神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432

電話 0460-82-2717 FAX: 0460-82-2717

URL <http://www.hmop.com>

e-mail info@hmop.com

開館時間：10:00-17:00

休館日：火曜休館（祝日、8/16を除く）

入館料：大人500円(300円)（ ）内は小中学生

※未就学児童は無料

※常設展「遠藤桂 富士山写真展」もご覧頂けます。

【主催等】

主催：箱根写真美術館

後援：チェコ共和国大使館

協力：日本ビール株式会社（ピルスナーウルケル総代理店）

企画制作：株式会社アートオンミュージック

PRESS RELEASE

Hakone museum of photography